______ A NG 7 化消洗瓶电。同音串 / 医颅_斑刻颅 \

A 收入指導依賴書·问意書(医師→薬剤師)			
	<<医師記 フ	、欄>>	
医療機関名: 岡谷市民病院	担当医師名: @USEF	RNAME 西暦	@SYSDATE
患者名: @PATIFNTNAMF I D: @PATIENTID			
処方薬品名①: (薬品①不適合時)薬品名:			
処方薬品名②: (薬品②不適合時)薬品名:			
依頼理由	夢 □ ②定期確認指導 □ ③薬剤変更に とによる確認指導 □ ⑤その他(コメン		こついてコメント欄へ記載)
SABA使用時 □ リリーフ	ユース(呼吸困難時) 🗆 アシストユース	.(呼吸困難のある動作前) *1日	()回まで使用可能
疾患名(疑い含) 🗆 喘息 🗆	」喘息 □ COPD □ 喘息・COPD合併 □ 他:		
□ なし □ 合併症 □ 糖尿病 [(閉塞隅角)緑内障 ロ 前立腺肥大・頻尿 コその他:	□ 高血圧症 □ 狭心症 □	心筋梗塞 🗆 不整脈
指示項目 🗹 実薬吸入	指導可 図 継続確認指導可 図 スペ·	-サー必要時追加可(指導時に薬剤	割師が判断)
担当医師コメント			
くく患者様へ>>			
吸入療法において、吸入手技や吸入動作は治療効果に大きく影響します。正確な吸入方法を習得すると共に、あなたに適した薬剤を選択し、より有効で安全な吸入療法を行うために、岡谷市民病院と岡谷薬剤師会保険薬局が病薬連携し吸2療法を支援する取り組みを行っています。保険薬局での指導内容は、岡谷市民病院へFAXにて返信され、次回以降の診療に反映されます。保険薬局が吸入療法を支援するにあたり、担当医から保険薬局薬剤師に、あなたへの「吸入指導」を依頼すると共に、「病名や治療に関する情報」を伝えます。あなたの診療情報を把握することにより、お薬の使い方や安全性等について適切な助言が可能となります。			
私は、上記の内容につき担当医師より説明を受け、十分に理解した上で私の吸入療法を支援する本取り組みに			
参加することに、	□ 同意します	□ 同意しません	
□ 2回目以降(初回に	こて同意済み)		
西暦 年 月	田 署名:	(本人でない	場合の続柄:)
*個人情報の取り扱いは、個人情報の保護に関する法律·関連諸法令等を遵守し適切に取り扱います。吸入連携への参加に伴い収集 された個人情報は個人が特定できないよう匿名化し、吸入連携をより良いものにするために使用する場合があります。			
<<病院薬剤師記入欄>>			
		薬剤師名:	ЕД
インチェックによる吸気流速 (適合範囲) (pMDI:20~60L/min)	①(L/min) 口適合 口不適合	*処方変更時再確認:(L/min) □適合 □不適合
(DPI :30~90L/min)	②(L/min) 口適合 口不適合	*処方変更時再確認:(L/min) 口適合 口不適合
デモ器(必要時笛)による吸入力	①□問題なし □その他(コメント欄へ)	*処方変更時再確認:□問題な	
 配布ツール	②口問題なし 口その他(コメント欄へ) ロデモ器 ロトレーナー(笛) 口補助器	★処方変更時再確認: □問題な具 □スペーサー □その他(<u>しての他(コメクト懶へ)</u>)
吸入薬管理	□本人□家族(<u> </u>)
		, = 0.510 \	

病院薬剤師コメント

手技確認:①薬の準備 ②息吐き ③吸入 ④息止め ⑤息吐き 繰り返し ⑥後片付け ⑦うがい

くく保険薬局様へ>>

岡谷市民病院では、岡谷薬剤師会と「吸入指導依頼書・同意書」、「吸入指導実施確認・報告書」を用いた吸入指導連携 を開始しました。「吸入指導実施確認・報告書」は岡谷市民病院HP(吸入指導連携)よりダウンロードできますのでご利用 ください。吸入指導後の報告書を岡谷市民病院(FAXO266-23-0876)にFAX送信頂けましたら幸いです。 予では、同谷市民病院薬剤科の小竹(コタケ)までお問合せ下さい(TEL 0266-23-8000)。